

はがり。見守りの はがり。見守りの 仕組み構築に向け、

事例から地域での取り組みに ついて協議▶

3月に黒瀬地域関係者ネット ワーク会議を開催し、各自治 協・民児協・女性会・老人クラ ブ等の代表者が「孤立死を防ぐ ために取り組めること」をテー マにグループで話合いました。 話合いにより、黒瀬町では高

齢・障害・子どもの区別なく、日頃からのつながりと自然 に見守る仕組みの構築を具体的に進めていくことが決まり ました。

皆様の知恵と力をお借りして『他人事ではなく自分ごと』 で考え、支え合える黒瀬を目指し、取り組みを進めていき ます!



自分がもし、孤立死してしまったら 死後、何日で見つけて欲しいですか?

▲取り組みの方向性を確認しながら進めます





▲たくさんのおはぎが完成



▲心を込めてのおはぎ作り

「地域の見守り活動をもっと充実させたい」との木谷地区社協蛟龍 メンバーの思いが原動力となり平成21年より木谷自治協議会と協力 して定期的に友愛訪問を行っています。

自治協共催の区長さんを通じて春はおはぎ、夏はお茶と塩あめが 77歳以上の福寿の会利用者や見守りたい方々を対象に年2回届けられ ています。この春も木谷地区社協蛟龍の皆さんが腕を振るい心のこ もった優しい味のおはぎが届けられました。おはぎづくりは地区社協、 おはぎ配りは区長さん、地域の見守りネットワークが広がっています。











▲みんなで元気に百歳体操



東西条地区では、市介護予防活動等応援補助事業を 活用し介護予防や地域交流を目的とした取り組みとし て『元気にいちさんすい』がスタートしました。

この交流会は東西条地区の高齢者を対象に毎月第1・ 3水曜日に看護小規模多機能型居宅介護きさかの地域 交流室で開催されています。

活動内容は、昔馴染みの曲を歌ったり百歳体操で身 体を動かしたりするほかに、看多機きさか職員さんの 協力による健康や介護予防等の専門的なお話が聞ける 時間も設けられています。

笑顔で楽しく介護予防や交流ができる場所が身近な 場所にあることで地域の元気につながっています。



▲看護小規模多機能型居宅介護きさかの 所長さんによる講話

定して行動せよ!

ま正反対である 自助・共助を

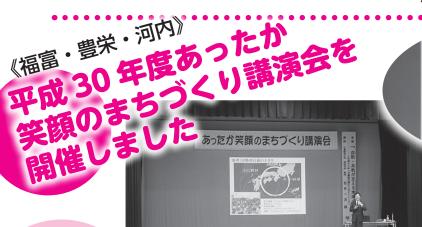
"災害プロアクティブ"の原則を厳守しよう。

1) 疑わしいときは行動せよ! 2) 最悪の事態を想定して行動せよ! 3) 空振りは許されるが、見逃しは

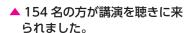
許されない!

(1)疑わしい。

(2) 最悪の事情



松井教授は、 阪神淡路大震災を 経験されており、 マーケティング論だけで はなく、災害情報論も 専門とされて おられます。



▲そのとき後悔するかもしれ ないことは、今、やってお かねばなりません!

この他にも 各地でたくさんの 活動をしているよ! みんなも参加して みてね!!

3月7日(木)に、道の駅・湖畔の里福富にて、河内・福富・豊栄3町合同で「あったか笑顔のまち づくり講演会」を開催しました。広島経済大学の松井一洋教授を講師にお招きし、「自助・共助が支 えるまちづくり」と題して、「大切な人のためにも自分の命は自分で守れ! 地域でお互いに助け合う つながりが重要だ。そのためにも挨拶をしよう!"災害プロアクティブの原則"を順守しよう。」な ど「自助・共助」がいかに大切かと講演をされました。

日頃からの声かけや見守り活動を含め、地域のつながりづくりの大切さを改めて考えることができ た一日でした。







